

『女性の目線を活かした災害時緊急参集等の対策についての提案書』

1. 背景

過去の災害時の問題を鑑み、本市に大規模な自然災害が発生した場合に、職員の参集、育児や介護、生活の立て直し、定期的な心身の休息などのサポート対策について事前に検討しておく必要が明らかとなった。

2. 防災に女性の参加と目線を取り入れる検討会

1) 本年度の検討テーマ

大規模災害時に、豊橋市職員による初動体制の早期確立と災害対応が長期化した際の対策、各企業などにおける発災後の業務再開などについて、育児・介護世代の女性職員の目線から検討し提案する。



平成 29 年度防災に女性の参加と目線を取り入れる検討会委員

2) 検討委員

15名（依頼と公募で集まった防災に関心がある又は子育て、介護経験のある女性職員）

3. 『女性の目線を活かした災害時緊急参集等の対策についての提案書』の内容

1) 検討会で見てきた本市における課題

- (1) 大規模災害時にどれだけの職員が緊急参集できるのか、各部局（班）が把握していない
- (2) 緊急参集するために育児・介護などが必要な家族がいる職員への対応を整備しておく必要がある
- (3) 災害復興業務の継続性が担保できない
- (4) 市として、災害時に育児・介護等を行う世帯に対しての対策が考えられていない

2) 課題解決の基本的考え方

- (1) 緊急参集のための対策・体制を事前に整える
- (2) 災害時は住民・職員ともに心身が疲れ傷ついているという視点を持つ

3) 課題解決にむけた提案

- (1) 「大規模災害時の職員緊急参集の実態とサポート対策の活用」に関する事前調査の実施
- (2) 「子ども・高齢者の一時預かり」（通称：子連れ出勤）の施策化の検討
- (3) 災害時は住民・職員ともに心身が疲れ傷ついているという視点からの住民・職員を支える対策の検討
- (4) 各企業・事業所への災害時の従業員の参集、心身の健康などへの配慮に対する啓発

4. 来年度について

検討委員に市民を新たに加え、災害時のレスパイトデイズなどについて検討を行う